

佐世保市議会
令和3年6月定例会 一般質問順序

質問日	順序	議席番号	氏名	所属党派	質問方式	質問時間
6月23日 (水)	1	10	宮島 武雄	公明党	【一括方式】	20分
	2	13	永田 秀人	市民クラブ	【一括方式】	20分
	3	2	田山 藤丸	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	4	14	山下 廣大	市政会	【一括方式】	10分
	5	17	湊 浩二郎	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	6	31	古家 勉	市民クラブ	【一括方式】	20分
6月24日 (木)	7	30	大塚 克史	公明党	【一括方式】	20分
	8	22	小野原 茂	市民クラブ	【一括方式】	15分
	9	7	橋之口 裕太	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	10	4	小田 徳顕	日本共産党	【一括方式】	10分
	11	21	柴山 賢一	市民クラブ	【一括方式】	15分
	12	9	萩原 活	自民党市民会議	【一括方式】	20分
6月25日 (金)	13	5	鶴 大地	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	14	8	久保 葉人	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	15	23	林 健二	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	16	28	松尾 裕幸	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	17	1	宮田 京子	歩みの会	【一括方式】	10分
	18	6	角田 隆一郎	自民党市民会議	【一括方式】	20分

○ 宮 島 武 雄

(2 0 分)

【一括方式】

1 今後の保健福祉施策について

○ 障害福祉サービスにおける質の向上や生活環境整備について

〔市 長〕

2 小中学校の空調整備について

○ 特別教室や体育館の空調整備について

〔市 教 育 長〕

○ 永 田 秀 人 (20分)

【一括方式】

1 総合医療センターの労働環境について

佐世保市の医療の現場において、コロナ対応が長期化する中で労働強化が過剰になることを危惧している。

昨年の12月定例会で総合医療センターの状況を尋ねたが、2020年度の状況が最終的にどうだったのか。また、市として現況や課題をどのように考えているのか。

〔市 長〕

2 路線バスの現状と地域公共交通再編実施計画について

路線バス運転士の確保が難しい状況が続いている模様である。以前より課題だった運転士の賃金改善はどうなっているのか。

また、現在の地域公共交通再編実施計画の計画期間は今年度が最終年度である。次期計画を公共交通網の維持・改善に資する計画とするために、市として現状と課題をどのように認識しているのか。

〔市 長〕

○ 田 山 藤 丸 (20分)

【一括方式】

1 持続可能なスポーツ環境の整備について

昭和44年の国体開催に合わせて整備された総合グラウンドの老朽化が著しく、そのリニューアルが本市の大きな課題となっています。しかし、財政難や人口減少等の中で、持続可能なスポーツ環境の整備を図っていくためには、既存施設の集約や複合化をはじめ、他市町を含む広域都市圏での連携、民間の資金やノウハウを活用した官民連携の視点が欠かせません。さらに、近年激甚化する災害対応を念頭に、スポーツ施設を防災拠点と位置づけ、気候変動に備えるフェーズフリーのまちづくりが注目されています。そこで、本市における持続可能なスポーツ環境の整備と、総合グラウンドが立地する相浦地区の特性を踏まえた地域核としての将来像について、市の考えを伺います。

- 佐世保市総合グラウンドの現状と課題
- 広域連携・官民連携の推進
- 防災拠点・災害対応型のまちづくり

〔市 長〕
〔教 育 長〕

2 脱炭素化と地方創生の取組について

国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目標に掲げ、自治体と企業、市民が一体となった取組の後押しを加速化させています。そのような中、近年の技術革新により、石油・石炭・ガスの有望な代替燃料として、「水素」「アンモニア」が注目されるようになりました。さらに、再生可能エネルギーで発電した電気を水素として蓄え、天然ガスとの混焼や燃料電池に利用する方法も開発が進んでいます。そこで、水素やアンモニア等の活用を視野に、本市における脱炭素化と地方創生の可能性、さらに脱炭素化の取組を包括する佐世保版グリーン成長戦略について研究・策定を行うべきと考えますが、市の考えを伺います。

- 水素・アンモニアの可能性
- 佐世保版グリーン成長戦略の策定

〔市 長〕

○ 山 下 廣 大 (10分)

【一括方式】

1 新型コロナウイルス感染者の人権について

今回、新型コロナウイルスに感染した方々よりたくさんのお声を頂きました。
新型コロナウイルス感染者の方々の声を代弁し、この問題に潜む様々な問題点
について伺います。

〔市 長〕

2 新型コロナウイルス感染者の情報管理について

これまでに、本市においても、数多くの方々が新型コロナウイルスに感染され
ました。それぞれ様々なご事情があると思いますが、市としては、これらの方々の
情報の管理について、どのように対応されているのか伺います。

〔市 長〕

○ 湊 浩 二 郎

(2 0 分)

【一括方式】

1 佐世保市における日本版C C R Cの取組について

日本版C C R Cとは「大都市圏をはじめとする都市部で生活する高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」を目指すものとして始まりました。この構想の意義としては「地方移住を望む高齢者の希望の実現」「地方への人の流れの推進」「大都市圏の高齢化問題への対応」の3つが挙げられています。

大都市圏への人口集中が進む中、高齢者の地方移住によってその流れを食い止め、地方創生に貢献することが期待されます。また、大都市圏の高齢者増加による医療介護人材不足が深刻化し、地方から職を求めての人口流出に拍車がかかることが予想されており、その問題解決としても有意義であると考えられています。

長野県の佐久市においては、市営住宅を移住者向けワーキングスペースを併設したサービス付き高齢者住宅に転用し、「佐久市生涯活躍のまち構想」として取り組んでいます。

当市には佐久市同様に老朽化、空室化が進み、入居の募集停止が行われている市営住宅が多くみられます。

そこで、高齢者移住の進め方として、そのような市営住宅を活用し、日本版C C R Cの取組をすべきと思われませんが、市長はどのようにお考えかお尋ねします。

〔市 長〕

2 三ヶ町・四ヶ町の全天候型アーケード通りを利用した「させぼ夜市」の可能性について

当市のパンフレットを見てみると『国内100都市を対象に、今後の成長性を左右する「産業創発力」の現状、及び将来のポテンシャルを分析した「成長可能性都市ランキング」において10位にランクされました。』とあります。これは朝長市長自らのトップセールスの効果であり、ますます市民の期待も大きくなってきたものと考えられます。

特に当市は地方創生型のIR（統合型リゾート）誘致の可能性も見えてきており、九州にとどまらず、日本における観光の拠点になりつつあると言っても過言ではありません。

また、クルーズ船の誘致については、従来の三浦岸壁の16万トンクラスに加え、浦頭港にも16万トンクラスが寄港できるようになり、2隻で乗客は1万人以上にもものぼります。昨年10月26日には日本の船社のクルーズ船「にっぽん丸」を受け入れ、200名を超える日本人観光客が佐世保市を訪れました。このことはコロナ禍において日本初の試みであり、事故もなく無事帰路に就かれました。佐世保港におけるクルーズ船受入れの大きな実績として、旅行会社や船主等の関係者には注目されているはずです。

日本の船社においては、外国の船社と異なり、停泊が可能であり多くの観光客が夜のまちに繰り出します。

コロナ後においては日本船社のクルーズ船を数多く誘致し、観光客にとって魅力あふれる夜のまちづくりをしなければならないと思います。

そこで、平成28年、29年の2回の定例会において、提案しました三ヶ町・四ヶ町の全天候型アーケード通りを利用した、屋台などが連なる「させぼ夜市」の実現が必要と思います。

改めてお尋ねします。その後の「まちづくり会社」の活動と実績、「させぼ夜市」実現の可能性について、市長はどのようにお考えかお尋ねします。

〔市 長〕

○ 古 家 勉 (20分)

【一括方式】

1 獣医師確保について

家畜の疫病予防や食肉検査などに当たっている行政で働く獣医師は、過酷な労働条件の上に、待遇面でも開業獣医師よりはるかに悪い状況にあり、なり手が少ない原因となっていると聞いている。行政で働く獣医師は、家畜の健康はもとより、BSE、鳥インフルエンザ等への対応や、安全・安心な食肉の供給、そして、2021年度からは本市の動物愛護センターも運用するようになってきていることから、その役割と必要性が増大しており、欠かせない存在であるため、職員の採用については、現在の処遇の改善が必要である。

また、佐世保市においては、ここ数年は職員が欠員状態であるとも聞いている。獣医師不足の問題をどのように認識しているのか。また、今後の獣医師確保についての現状はどうなっているのか。

長崎県では、長崎県職員の就業条件を満たすことで、獣医修学資金を援助する制度の創設がなされている状況もある。佐世保市においても、具体的な獣医師の確保対策を示してもらいたい。

〔市 長〕

2 ふれあい収集について

ふれあい収集については、高齢者等の支援として幾度となく実施を求めてきたが、一向に進んでいない。いまだモデル地域での試行にとどまっており、以前、福祉施策との整合を図りながら検討していくとの答弁がなされたが、その後の変化はみられていない。

斜面地が多いという本市の地理的特徴や高齢化の進行による一人暮らしの高齢者の増加とコロナ禍という状況を考えれば、今こそ行政サービスとして「ふれあい収集」を本格実施すべきではないか。

- 「ふれあい収集」の実施に向けた現在の進捗状況はどうなっているのか。
- 長期間にわたって実施しているモデル事業で得られた成果と課題は何か。
- 課題に対する対応をどのように考えているのか。
- いつまでもモデル事業を継続しているが、今後どのように展開するのか。

〔市 長〕

○ 大 塚 克 史

(20分)

【一括方式】

- 1 ポストコロナ時代を見据えた取組について
 - デジタル化の活用と推進について
 - 「重層的支援体制整備事業」の創設について

〔市 長〕

- 2 離島振興について
 - 福祉用具等の運送について
 - 移動販売車の支援について

〔市 長〕

○ 小野原 茂

(15分)

【一括方式】

- 1 今後の地場産業の活性化に向けた取組について
 - S S K新造船事業撤退後のこれからの取組について
 - 新工業団地の企業誘致の現状と課題について

〔市 長〕

○ 橋之口 裕太 (20分)

【一括方式】

1 チーム学校の構築について

国は「教育の専門性を有する教職員に加え、地域とも連携しながら、多様な職種
の専門性を有するスタッフを学校に置き、校長のリーダーシップの下、それら
の教職員や専門能力スタッフが自らの専門性を十分に発揮し、「チームとして学
校」の総合力、教育力を最大化できるような体制を構築する。」として様々な検討
を進めています。本市においても教師の資質向上はもとより、チームとして学校
組織の体制強化を図るべきだと考えます。本市の現状と今後の対応について伺い
ます。

〔市 長〕
〔教 育 長〕

2 特別養護老人ホーム等の建て替え補助金の在り方について

本市における特別養護老人ホーム等の高齢者施設については、建て替え等の補
助金について要綱により定めてありますが、人件費・資材費など建設に当たり、
コストが高騰する中であって、本市における補助金の見直しはなされていません。
本市の現状と今後の対応について伺います。

〔市 長〕

○ 小 田 徳 顕 (10分)

【一括方式】

1 石木ダム建設事業について

石木ダム建設事業をめぐり、長崎県は石木・川原の13世帯の住民と対話に向けた事前協議を申し入れた。地域住民は工事を一旦中止し、治水、利水両面でダム建設の必要性について話し合いたいと考えている。事業認定取消訴訟が最高裁で棄却されているが、佐世保市は共同事業者として今現在のダム建設の必要性を真摯に伝えていく責務があると考えているが、その点について本市の見解を問う。

〔市 長〕
〔水 道 局 長〕

2 放課後児童クラブについて

6月5日付の西日本新聞で本市の住宅街で今年3月に民家に開所した放課後児童クラブが、地域の理解を得られず3か月余りで移転を余儀なくされたとの報道があった。このクラブに限らず、騒音等の問題を抱えているクラブがある。子どもたちの安全、安心を考えると学校の余裕教室を活用することが望ましいと考える。厚生労働省や文部科学省は余裕教室を活用することを推奨しているが、本市の73あるクラブの中で、学校の余裕教室を活用しているのは僅か1クラブにとどまっている。余裕教室の活用について本市の見解と今後の課題を問う。

〔市 長〕
〔教 育 長〕

○ 柴 山 賢 一

(1 5 分)

【一括方式】

1 アフターコロナを見据えた俵ヶ浦半島開発の検討状況について

○ 俵ヶ浦半島にある3つの廃校の活用策の検討状況について

○ 今年3月に部分供用開始した九十九島観光公園の今後の活用策について

〔市 長〕

○ 萩 原 活 (20分)

【一括方式】

1 災害時に必要とされる避難所の在り方とペットを同伴できる避難所の運用方針について

- 災害時の避難所の重要性が見直される中、注目されているペットを同伴できる避難所が当市でも6月の「広報させぼ」で発表されている。佐世保市内で4か所を指定されており、その選定基準方法が不明確のようであるが当市としての選定方法の基準について

〔市 長〕

2 佐世保市が管理する都市公園、自然公園における林野火災対応について

- 世界各国で増えつつある林野火災であるが、令和3年2月には東京近郊の地域において大規模な林野火災が発生している。佐世保市も森林に囲まれている中に自然公園が多く点在しており、その多くの公園の火災対策について
- 再開発中の名切公園においてもキャンプ場が新設される予定であるが、周辺地域における防火対策について

〔市 長〕

○ 鶴 大 地

(2 0 分)

【一括方式】

1 官民連携での「まちづくり」について

- 「シビックプライド」について
- 「副業人材」について
- 「企業版ふるさと納税」について

〔市 教 育 長〕

2 ドローンの活用について

- 今後の展望について
- 民間事業者との連携について

〔市 長〕

○ 久 保 葉 人 (20分)

【一括方式】

1 花高三丁目14号線について

現在、花高三丁目において民間による宅地開発事業が進められており、また、開発区域内に官民連携で道路（花高三丁目14号線）を新設整備する計画と聞いている。道路新設により開発区域はもちろん、区域外からも通過交通の流入が見込まれることから事故の発生が、また、開発区域から流れ出る雨水等により生活環境の変化や悪化が懸念されるが、諸課題についての本市の対応策を問う。

〔市 長〕

2 早岐川水系流域治水プロジェクトについて

県はダムや堤防だけに頼らず、河川流域の自治体や企業、住民が一体となって水害被害を軽減する「流域治水プロジェクト」を推進しており、また今般、早岐川水系が対象河川の一つに選ばれたとのこと。「流域治水プロジェクト」の内容並びに早岐川水系についての同プロジェクトの概要と今後の取り進め方等を問う。

〔市 長〕

1 佐世保市の水資源確保について

集中豪雨や熱波といった異常気象と言われる自然災害が世界各地で頻発しており、これらは地球温暖化と密接に関係していると考えられています。佐世保市においても、平成6年～7年発生の未曾有の大渇水では最大で43時間連続断水を実施しており、制限期間は264日間の長期に及びました。佐世保市水道局HPによると、昭和50年以降、ほぼ2年に1度の頻度で渇水に伴う給水制限の危機に瀕している状況とありますが、水資源確保の現状は薄氷を踏む思いの毎日と言えます。その解決策として、石木ダム事業の完成は市民の永年の願いであり、改めて、その必要性を説くべく、異常気象への認識や対応、今後の予想をどのように分析されるのか、既存の老朽化した水道施設の長寿命化対策の具現化に向けた課題、さらに度々論議される佐々川等の水資源の利用可能性の是非等について問います。

〔水 道 局 長〕

2 農業用ため池の保全管理の強化と農地災害復旧事業の個人負担金について

国は近年「ため池管理保全法」「ため池工事特措法」を制定し、全国的に多発する、ため池災害の防止に向けて、保全管理体制の強化を鋭意図っています。県内でも多くのため池（1,098か所）を持つ佐世保市において、農業用ため池の被害を未然に防止し、市独自の具体的な対策を早急に構築する必要があります。そのため、課題解決に当たっての論点を幾つかに分けて問います。また、農地災害復旧事業における被災農家の個人負担金について問います。

- これまでの農業用ため池被害の実態について
- 防災重点ため池と特定農業用ため池の現状とハザードマップの活用について
- 多面的機能支払交付金活用による農業用ため池保全管理の現状と推奨について
- ため池保全管理用フェンスと注意立て札の設置の徹底について
- 民有ため池の市への無償譲渡の可能性について
- 必要性に応じた農業用ため池の統合・廃止の検討と行政支援について
- 市独自の農業用ため池保全管理サポートセンターの構築の検討について
- 農地災害復旧事業における個人負担金の在り方について

〔市 長〕

○ 松 尾 裕 幸 (20分)

【一括方式】

1 基地との共存共生について

- 崎辺東地区の海上自衛隊の岸壁整備等による、環境整備について
- 防衛省・九州防衛局と本市基地政策局と崎辺地区住民との関係について

〔市 長〕

2 町内会が管理する防犯灯の維持に係る公的関与について

- 防犯灯の必要性や地域との関係性から、行政としての公的関与について
- 全体の利益を高めるための、事務手続等の簡素化と手法について

〔市 長〕

○ 宮 田 京 子 (10分)

【一括方式】

1 防災行政無線の戸別受信機に関する運用について

防災行政無線の戸別受信機については、令和2年度に北部エリアの6地区自治協議会に配備が完了し、今年度は、相浦川、早岐川、宮村川による浸水想定地域を含む9地区自治協議会に配備予定で、残る12地区自治協議会においても、令和4年度以降、順次、配備予定となっており、全ての希望する世帯に無償貸与される計画で進められています。国においても、「高齢者世帯等への確実な情報伝達に関する緊急対策」として、住居内の戸別受信機の普及促進を図ることが重要との認識を示しておられます。そこで、今後、本格運用されるに当たっての課題について、以下のとおり質問します。

- 設置に際しての問題点について
- 防災意識の向上と一斉点検の必要性について
- 地域限定放送の在り方について
- 戸別受信機の有効性と活用について

〔市 長〕

○ 角 田 隆 一 郎

(2 0 分)

【一括方式】

1 佐世保市の想像力について

○ 庁舎内の昼休みの電気を点灯する件について

○ 佐世保市における新型コロナウイルス感染症の1年間の総括について

〔市 長〕
〔教 育 長〕